

4. 被害想定結果（結果表）

（1）全壊建物棟数

全壊棟数（冬05時 風速03m/s）

	M	合計	揺れ		液状化		急傾斜地崩壊		火災	
			棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比
① 猿投－高浜断層帯	7.6	約 200,000	約 150,000	約76%	約 20,000	約10%	約 4,000	約2%	約 23,000	約12%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 78,000	約 56,000	約72%	約 15,000	約20%	約 1,700	約2%	約 4,900	約6%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 88,000	約 58,000	約66%	約 18,000	約21%	約 2,600	約3%	約 8,500	約10%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 120,000	約 89,000	約73%	約 19,000	約15%	約 1,900	約2%	約 12,000	約10%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 57,000	約 39,000	約68%	約 4,400	約8%	約 2,900	約5%	約 11,000	約19%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 210,000	約 130,000	約62%	約 6,300	約3%	約 2,300	約1%	約 74,000	約34%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 80,000	約 49,000	約61%	約 9,700	約12%	約 2,600	約3%	約 19,000	約23%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 230,000	約 160,000	約71%	約 13,000	約6%	約 3,500	約2%	約 50,000	約22%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 320,000	約 250,000	約78%	約 17,000	約5%	約 2,800	約0.9%	約 51,000	約16%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 690,000	約 560,000	約81%	約 22,000	約3%	約 4,300	約0.6%	約 100,000	約15%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 120,000	約 96,000	約77%	約 15,000	約12%	約 1,500	約1%	約 12,000	約10%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 190,000	約 150,000	約82%	約 15,000	約8%	約 4,300	約2%	約 15,000	約8%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 140,000	約 100,000	約74%	約 4,800	約4%	約 7,900	約6%	約 23,000	約17%

全壊棟数（冬05時 風速15m/s）

	M	合計	揺れ		液状化		急傾斜地崩壊		火災	
			棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比
① 猿投－高浜断層帯	7.6	約 260,000	約 150,000	約58%	約 20,000	約8%	約 4,000	約2%	約 83,000	約32%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 110,000	約 56,000	約50%	約 15,000	約14%	約 1,700	約2%	約 39,000	約35%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 110,000	約 58,000	約55%	約 18,000	約17%	約 2,600	約2%	約 26,000	約25%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 150,000	約 89,000	約58%	約 19,000	約12%	約 1,900	約1%	約 44,000	約29%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 73,000	約 39,000	約53%	約 4,400	約6%	約 2,900	約4%	約 27,000	約37%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 310,000	約 130,000	約43%	約 6,300	約2%	約 2,300	約0.7%	約 170,000	約54%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 110,000	約 49,000	約45%	約 9,700	約9%	約 2,600	約2%	約 48,000	約44%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 310,000	約 160,000	約51%	約 13,000	約4%	約 3,500	約1%	約 140,000	約44%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 440,000	約 250,000	約56%	約 17,000	約4%	約 2,800	約0.6%	約 180,000	約39%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 880,000	約 560,000	約63%	約 22,000	約2%	約 4,300	約0.5%	約 300,000	約34%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 240,000	約 96,000	約40%	約 15,000	約6%	約 1,500	約0.6%	約 120,000	約53%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 230,000	約 150,000	約68%	約 15,000	約6%	約 4,300	約2%	約 54,000	約24%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 160,000	約 100,000	約62%	約 4,800	約3%	約 7,900	約5%	約 50,000	約31%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

全壊棟数(冬12時 風速0.3m/s)

	M	合計	揺れ		液状化		急傾斜地崩壊		火災	
			棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 220,000	約 150,000	約69%	約 20,000	約9%	約 4,000	約2%	約 43,000	約20%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 90,000	約 56,000	約62%	約 15,000	約17%	約 1,700	約2%	約 17,000	約19%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 94,000	約 58,000	約62%	約 18,000	約20%	約 2,600	約3%	約 15,000	約16%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 140,000	約 89,000	約64%	約 19,000	約14%	約 1,900	約1%	約 29,000	約21%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 64,000	約 39,000	約60%	約 4,400	約7%	約 2,900	約5%	約 18,000	約28%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 270,000	約 130,000	約50%	約 6,300	約2%	約 2,300	約0.9%	約 130,000	約47%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 96,000	約 49,000	約51%	約 9,700	約10%	約 2,600	約3%	約 35,000	約36%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 270,000	約 160,000	約59%	約 13,000	約5%	約 3,500	約1%	約 92,000	約34%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 370,000	約 250,000	約67%	約 17,000	約5%	約 2,800	約0.8%	約 100,000	約27%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 740,000	約 560,000	約75%	約 22,000	約3%	約 4,300	約0.6%	約 160,000	約21%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 140,000	約 96,000	約67%	約 15,000	約11%	約 1,500	約1%	約 30,000	約21%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 210,000	約 150,000	約75%	約 15,000	約7%	約 4,300	約2%	約 33,000	約16%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 140,000	約 100,000	約69%	約 4,800	約3%	約 7,900	約5%	約 32,000	約22%

全壊棟数(冬12時 風速15m/s)

	M	合計	揺れ		液状化		急傾斜地崩壊		火災	
			棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 300,000	約 150,000	約51%	約 20,000	約7%	約 4,000	約1%	約 120,000	約41%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 140,000	約 56,000	約40%	約 15,000	約11%	約 1,700	約1%	約 66,000	約47%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 120,000	約 58,000	約50%	約 18,000	約16%	約 2,600	約2%	約 38,000	約32%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 190,000	約 89,000	約47%	約 19,000	約10%	約 1,900	約1%	約 81,000	約42%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 83,000	約 39,000	約46%	約 4,400	約5%	約 2,900	約3%	約 38,000	約45%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 380,000	約 130,000	約35%	約 6,300	約2%	約 2,300	約0.6%	約 240,000	約63%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 140,000	約 49,000	約34%	約 9,700	約7%	約 2,600	約2%	約 81,000	約57%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 400,000	約 160,000	約40%	約 13,000	約3%	約 3,500	約0.9%	約 220,000	約55%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 560,000	約 250,000	約44%	約 17,000	約3%	約 2,800	約0.5%	約 290,000	約52%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 970,000	約 560,000	約57%	約 22,000	約2%	約 4,300	約0.4%	約 390,000	約40%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 290,000	約 96,000	約33%	約 15,000	約5%	約 1,500	約0.5%	約 180,000	約61%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 280,000	約 150,000	約55%	約 15,000	約5%	約 4,300	約2%	約 110,000	約39%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 180,000	約 100,000	約56%	約 4,800	約3%	約 7,900	約4%	約 68,000	約37%

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

上町断層帯の地震（M7.6）（4シーン別）

全壊棟数(風速03m/s)

		揺れ		液状化		急傾斜地崩壊		火災		合計
		棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	
①	冬05時発生	約 560,000	約81%	約 22,000	約3%	約 4,300	約0.6%	約 100,000	約15%	約 690,000
②	秋08時発生	約 560,000	約84%	約 22,000	約3%	約 4,300	約0.7%	約 80,000	約12%	約 660,000
③	冬12時発生	約 560,000	約75%	約 22,000	約3%	約 4,300	約0.6%	約 160,000	約21%	約 740,000
④	冬18時発生	約 560,000	約76%	約 22,000	約3%	約 4,300	約0.6%	約 150,000	約20%	約 730,000

全壊棟数(風速15m/s)

		揺れ		液状化		急傾斜地崩壊		火災		合計
		棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	
①	冬05時発生	約 560,000	約63%	約 22,000	約2%	約 4,300	約0.5%	約 300,000	約34%	約 880,000
②	秋08時発生	約 560,000	約66%	約 22,000	約3%	約 4,300	約0.5%	約 260,000	約31%	約 840,000
③	冬12時発生	約 560,000	約57%	約 22,000	約2%	約 4,300	約0.4%	約 390,000	約40%	約 970,000
④	冬18時発生	約 560,000	約59%	約 22,000	約2%	約 4,300	約0.5%	約 370,000	約39%	約 950,000

猿投－高浜断層帯の地震（M7.6）（4シーン別）

全壊棟数(風速03m/s)

		揺れ		液状化		急傾斜地崩壊		火災		合計
		棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	
①	冬05時発生	約 150,000	約76%	約 20,000	約10%	約 4,000	約2%	約 23,000	約12%	約 200,000
②	秋08時発生	約 150,000	約78%	約 20,000	約11%	約 4,000	約2%	約 18,000	約9%	約 190,000
③	冬12時発生	約 150,000	約69%	約 20,000	約9%	約 4,000	約2%	約 43,000	約20%	約 220,000
④	冬18時発生	約 150,000	約71%	約 20,000	約9%	約 4,000	約2%	約 38,000	約18%	約 210,000

全壊棟数(風速15m/s)

		揺れ		液状化		急傾斜地崩壊		火災		合計
		棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	棟数	構成比	
①	冬05時発生	約 150,000	約58%	約 20,000	約8%	約 4,000	約2%	約 83,000	約32%	約 260,000
②	秋08時発生	約 150,000	約61%	約 20,000	約8%	約 4,000	約2%	約 73,000	約30%	約 250,000
③	冬12時発生	約 150,000	約51%	約 20,000	約7%	約 4,000	約1%	約 120,000	約41%	約 300,000
④	冬18時発生	約 150,000	約52%	約 20,000	約7%	約 4,000	約1%	約 110,000	約39%	約 290,000

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

(2) 死者数

死者数 (冬05時 風速03m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 10,000	約 9,300	約92%	約 400	約4%	約 400	約4%	-	-
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 3,800	約 3,500	約94%	約 200	約4%	約 50	約1%	-	-
③ 加木屋断層帯	7.4	約 3,800	約 3,500	約91%	約 200	約6%	約 100	約3%	-	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 5,600	約 5,300	約95%	約 200	約3%	約 100	約2%	-	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 2,700	約 2,300	約87%	約 300	約10%	約 90	約4%	-	-
⑥ 花折断層帯	7.4	約 9,500	約 8,400	約89%	約 200	約2%	約 800	約9%	-	-
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 3,500	約 3,100	約89%	約 200	約7%	約 200	約5%	-	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 11,000	約 10,000	約90%	約 300	約3%	約 800	約7%	-	-
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 17,000	約 16,000	約94%	約 300	約2%	約 700	約4%	-	-
⑩ 上町断層帯	7.6	約 37,000	約 34,000	約92%	約 400	約1%	約 2,500	約7%	-	-
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 6,100	約 5,800	約96%	約 100	約2%	約 100	約2%	-	-
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 10,000	約 9,600	約93%	約 400	約4%	約 300	約3%	-	-
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 7,200	約 6,200	約86%	約 700	約10%	約 300	約4%	-	-

死者数 (冬05時 風速15m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 11,000	約 9,300	約84%	約 400	約3%	約 1,400	約12%	-	-
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 4,200	約 3,500	約84%	約 200	約4%	約 500	約12%	-	-
③ 加木屋断層帯	7.4	約 4,100	約 3,500	約85%	約 200	約6%	約 400	約9%	-	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 5,900	約 5,300	約90%	約 200	約3%	約 400	約7%	-	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 2,800	約 2,300	約82%	約 300	約9%	約 300	約9%	-	-
⑥ 花折断層帯	7.4	約 11,000	約 8,400	約79%	約 200	約2%	約 2,100	約19%	-	-
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 3,700	約 3,100	約84%	約 200	約6%	約 400	約10%	-	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 13,000	約 10,000	約79%	約 300	約3%	約 2,300	約18%	-	-
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 19,000	約 16,000	約85%	約 300	約1%	約 2,600	約14%	-	-
⑩ 上町断層帯	7.6	約 42,000	約 34,000	約81%	約 400	約1%	約 7,500	約18%	-	-
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 6,900	約 5,800	約84%	約 100	約2%	約 1,000	約14%	-	-
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 11,000	約 9,600	約89%	約 400	約4%	約 800	約7%	-	-
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 7,500	約 6,200	約82%	約 700	約9%	約 600	約8%	-	-

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

(注) 「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

死者数 (冬12時 風速03m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 4,300	約 3,400	約78%	約 200	約5%	約 600	約13%	約 100	約3%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 1,800	約 1,400	約79%	約 90	約5%	約 200	約10%	約 100	約6%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 1,600	約 1,300	約77%	約 100	約9%	約 200	約10%	約 70	約4%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 2,400	約 2,000	約84%	約 100	約5%	約 200	約9%	約 30	約1%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 1,300	約 1,000	約72%	約 200	約15%	約 200	約12%	約 10	約0.8%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 5,200	約 3,400	約64%	約 100	約2%	約 1,400	約26%	約 400	約7%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 1,700	約 1,200	約69%	約 200	約9%	約 200	約12%	約 200	約9%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 5,600	約 3,900	約70%	約 200	約4%	約 1,100	約19%	約 400	約8%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 8,000	約 6,100	約77%	約 200	約2%	約 1,200	約15%	約 500	約7%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 20,000	約 15,000	約77%	約 200	約1%	約 3,600	約18%	約 800	約4%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 3,400	約 2,700	約78%	約 80	約2%	約 300	約9%	約 400	約11%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 4,900	約 4,000	約81%	約 300	約5%	約 400	約9%	約 200	約5%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 3,400	約 2,400	約72%	約 500	約15%	約 300	約10%	約 90	約3%

死者数 (冬12時 風速15m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 5,300	約 3,400	約63%	約 200	約4%	約 1,600	約30%	約 100	約3%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 2,300	約 1,400	約60%	約 90	約4%	約 700	約31%	約 100	約5%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 1,900	約 1,300	約67%	約 100	約8%	約 400	約21%	約 70	約3%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 2,900	約 2,000	約70%	約 100	約4%	約 700	約24%	約 30	約1%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 1,500	約 1,000	約63%	約 200	約13%	約 400	約24%	約 10	約0.7%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 7,100	約 3,400	約48%	約 100	約2%	約 3,200	約45%	約 400	約5%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 2,000	約 1,200	約58%	約 200	約8%	約 500	約26%	約 200	約8%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 7,500	約 3,900	約52%	約 200	約3%	約 3,000	約40%	約 400	約6%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 11,000	約 6,100	約57%	約 200	約1%	約 4,000	約37%	約 500	約5%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 26,000	約 15,000	約59%	約 200	約0.9%	約 9,900	約38%	約 800	約3%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 4,500	約 2,700	約59%	約 80	約2%	約 1,400	約31%	約 400	約8%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 5,800	約 4,000	約69%	約 300	約5%	約 1,300	約23%	約 200	約4%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 3,900	約 2,400	約62%	約 500	約13%	約 800	約22%	約 90	約2%

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

その他の死者内訳(冬5時)

	M	その他合計	ブロック塀等の倒壊、 自動販売機の転倒	屋外落下物
① 猿投-高浜断層帯	7.6	-	-	-
② 名古屋市直下M6.9	6.9	-	-	-
③ 加木屋断層帯	7.4	-	-	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	-	-	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	-	-	-
⑥ 花折断層帯	7.4	-	-	-
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	-	-	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	-	-	-
⑨ 生駒断層帯	7.5	-	-	-
⑩ 上町断層帯	7.6	-	-	-
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	-	-	-
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	-	-	-
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	-	-	-

その他の死者内訳(冬12時)

	M	その他合計	ブロック塀等の倒壊、 自動販売機の転倒	屋外落下物
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 100	約 100	約 10
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 100	約 100	約 10
③ 加木屋断層帯	7.4	約 70	約 60	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 30	約 30	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 10	約 10	-
⑥ 花折断層帯	7.4	約 400	約 400	約 20
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 200	約 200	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 400	約 400	約 20
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 500	約 500	約 30
⑩ 上町断層帯	7.6	約 800	約 700	約 90
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 400	約 300	約 20
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 200	約 200	約 10
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 90	約 80	-

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

(注) 「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

上町断層帯の地震（M7.6）（4シーン別）

死者数（風速03m/s）

	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 冬05時発生	約 34,000	約92%	約 400	約1%	約 2,500	約7%	-	-	約 37,000
② 秋08時発生	約 24,000	約90%	約 300	約1%	約 1,700	約6%	約 800	約3%	約 27,000
③ 冬12時発生	約 15,000	約77%	約 200	約1%	約 3,600	約18%	約 800	約4%	約 20,000
④ 冬18時発生	約 23,000	約85%	約 300	約1%	約 3,100	約11%	約 800	約3%	約 27,000

死者数（風速15m/s）

	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 冬05時発生	約 34,000	約81%	約 400	約1%	約 7,500	約18%	-	-	約 42,000
② 秋08時発生	約 24,000	約78%	約 300	約0.9%	約 5,600	約18%	約 800	約2%	約 31,000
③ 冬12時発生	約 15,000	約59%	約 200	約0.9%	約 9,900	約38%	約 800	約3%	約 26,000
④ 冬18時発生	約 23,000	約71%	約 300	約0.9%	約 8,500	約26%	約 800	約2%	約 33,000

猿投－高浜断層帯の地震（M7.6）（4シーン別）

死者数（風速03m/s）

	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 冬05時発生	約 9,300	約92%	約 400	約4%	約 400	約4%	-	-	約 10,000
② 秋08時発生	約 5,600	約90%	約 300	約4%	約 200	約3%	約 100	約2%	約 6,200
③ 冬12時発生	約 3,400	約78%	約 200	約5%	約 600	約13%	約 100	約3%	約 4,300
④ 冬18時発生	約 5,800	約86%	約 300	約4%	約 500	約7%	約 100	約2%	約 6,700

死者数（風速15m/s）

	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 冬05時発生	約 9,300	約84%	約 400	約3%	約 1,400	約12%	-	-	約 11,000
② 秋08時発生	約 5,600	約81%	約 300	約4%	約 900	約13%	約 100	約2%	約 6,900
③ 冬12時発生	約 3,400	約63%	約 200	約4%	約 1,600	約30%	約 100	約3%	約 5,300
④ 冬18時発生	約 5,800	約76%	約 300	約4%	約 1,400	約19%	約 100	約2%	約 7,600

※「その他」には、ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物による死者数が含まれる。

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

(3) 負傷者数

負傷者数 (冬05時 風速03m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			負傷者数	構成比	負傷者数	構成比	負傷者数	構成比	負傷者数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 63,000	約 61,000	約97%	約 500	約0.8%	約 1,500	約2%	-	-
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 26,000	約 26,000	約98%	約 200	約0.8%	約 200	約0.9%	-	-
③ 加木屋断層帯	7.4	約 24,000	約 23,000	約97%	約 300	約1%	約 500	約2%	-	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 28,000	約 27,000	約96%	約 200	約0.8%	約 1,000	約4%	-	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 12,000	約 10,000	約90%	約 300	約3%	約 900	約7%	-	-
⑥ 花折断層帯	7.4	約 45,000	約 38,000	約84%	約 300	約0.6%	約 7,000	約15%	-	-
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 21,000	約 19,000	約90%	約 300	約1%	約 1,800	約8%	-	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 61,000	約 56,000	約92%	約 400	約0.7%	約 4,600	約8%	-	-
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 95,000	約 90,000	約95%	約 300	約0.3%	約 4,300	約4%	-	-
⑩ 上町断層帯	7.6	約 200,000	約 190,000	約95%	約 500	約0.3%	約 8,700	約4%	-	-
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 38,000	約 37,000	約97%	約 200	約0.5%	約 900	約2%	-	-
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 59,000	約 58,000	約98%	約 500	約0.8%	約 1,000	約2%	-	-
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 34,000	約 31,000	約91%	約 900	約3%	約 2,100	約6%	-	-

負傷者数 (冬05時 風速15m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			負傷者数	構成比	負傷者数	構成比	負傷者数	構成比	負傷者数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 69,000	約 61,000	約89%	約 500	約0.7%	約 7,100	約10%	-	-
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 29,000	約 26,000	約88%	約 200	約0.7%	約 3,200	約11%	-	-
③ 加木屋断層帯	7.4	約 26,000	約 23,000	約91%	約 300	約1%	約 2,000	約8%	-	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 31,000	約 27,000	約86%	約 200	約0.7%	約 4,000	約13%	-	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 13,000	約 10,000	約79%	約 300	約2%	約 2,500	約19%	-	-
⑥ 花折断層帯	7.4	約 54,000	約 38,000	約70%	約 300	約0.5%	約 16,000	約30%	-	-
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 24,000	約 19,000	約79%	約 300	約1%	約 4,700	約20%	-	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 70,000	約 56,000	約80%	約 400	約0.6%	約 13,000	約19%	-	-
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 110,000	約 90,000	約84%	約 300	約0.3%	約 17,000	約15%	-	-
⑩ 上町断層帯	7.6	約 220,000	約 190,000	約87%	約 500	約0.2%	約 28,000	約13%	-	-
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 48,000	約 37,000	約76%	約 200	約0.4%	約 11,000	約23%	-	-
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 63,000	約 58,000	約92%	約 500	約0.8%	約 4,600	約7%	-	-
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 37,000	約 31,000	約85%	約 900	約2%	約 4,700	約13%	-	-

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

(注) 「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

負傷者数（冬12時 風速03m/s）

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			負傷者数	構成比	負傷者数	構成比	負傷者数	構成比	負傷者数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 51,000	約 43,000	約84%	約 300	約0.6%	約 2,600	約5%	約 5,500	約11%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 26,000	約 21,000	約81%	約 100	約0.4%	約 800	約3%	約 4,000	約16%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 20,000	約 17,000	約84%	約 200	約0.9%	約 800	約4%	約 2,300	約12%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 21,000	約 17,000	約83%	約 100	約0.7%	約 2,100	約10%	約 1,200	約6%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 9,500	約 7,400	約78%	約 200	約3%	約 1,500	約15%	約 400	約4%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 52,000	約 26,000	約50%	約 200	約0.3%	約 12,000	約23%	約 14,000	約27%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 22,000	約 14,000	約61%	約 200	約0.9%	約 2,700	約12%	約 5,600	約26%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 62,000	約 38,000	約61%	約 300	約0.4%	約 7,900	約13%	約 16,000	約26%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 87,000	約 59,000	約68%	約 200	約0.2%	約 8,000	約9%	約 19,000	約22%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 190,000	約 150,000	約77%	約 300	約0.2%	約 14,000	約7%	約 30,000	約16%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 49,000	約 33,000	約67%	約 100	約0.2%	約 2,500	約5%	約 14,000	約28%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 51,000	約 39,000	約77%	約 300	約0.6%	約 2,300	約5%	約 9,000	約18%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 26,000	約 20,000	約76%	約 700	約2%	約 2,500	約9%	約 3,100	約12%

負傷者数（冬12時 風速15m/s）

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			負傷者数	構成比	負傷者数	構成比	負傷者数	構成比	負傷者数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 58,000	約 43,000	約73%	約 300	約0.5%	約 9,800	約17%	約 5,500	約9%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 30,000	約 21,000	約69%	約 100	約0.4%	約 5,400	約18%	約 4,000	約13%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 22,000	約 17,000	約77%	約 200	約0.8%	約 2,600	約12%	約 2,300	約11%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 25,000	約 17,000	約68%	約 100	約0.6%	約 6,600	約26%	約 1,200	約5%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 11,000	約 7,400	約66%	約 200	約2%	約 3,300	約29%	約 400	約3%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 63,000	約 26,000	約41%	約 200	約0.2%	約 23,000	約36%	約 14,000	約22%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 26,000	約 14,000	約52%	約 200	約0.7%	約 6,700	約26%	約 5,600	約22%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 73,000	約 38,000	約51%	約 300	約0.3%	約 19,000	約26%	約 16,000	約22%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 100,000	約 59,000	約57%	約 200	約0.2%	約 25,000	約24%	約 19,000	約19%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 210,000	約 150,000	約69%	約 300	約0.1%	約 37,000	約17%	約 30,000	約14%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 63,000	約 33,000	約52%	約 100	約0.2%	約 17,000	約26%	約 14,000	約22%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 58,000	約 39,000	約69%	約 300	約0.6%	約 8,800	約15%	約 9,000	約16%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 30,000	約 20,000	約68%	約 700	約2%	約 5,700	約19%	約 3,100	約10%

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

その他の負傷者数内訳(冬5時)

	M	その他合計	ブロック塀等の倒壊、 自動販売機の転倒	屋外落下物
① 猿投-高浜断層帯	7.6	-	-	-
② 名古屋市直下M6.9	6.9	-	-	-
③ 加木屋断層帯	7.4	-	-	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	-	-	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	-	-	-
⑥ 花折断層帯	7.4	-	-	-
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	-	-	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	-	-	-
⑨ 生駒断層帯	7.5	-	-	-
⑩ 上町断層帯	7.6	-	-	-
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	-	-	-
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	-	-	-
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	-	-	-

その他の負傷者数内訳(冬12時)

	M	その他合計	ブロック塀等の倒壊、 自動販売機の転倒	屋外落下物
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 5,500	約 4,900	約 600
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 4,000	約 3,600	約 400
③ 加木屋断層帯	7.4	約 2,300	約 2,200	約 100
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 1,200	約 1,200	約 80
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 400	約 300	約 30
⑥ 花折断層帯	7.4	約 14,000	約 12,000	約 1,700
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 5,600	約 5,400	約 300
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 16,000	約 15,000	約 1,700
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 19,000	約 17,000	約 2,200
⑩ 上町断層帯	7.6	約 30,000	約 23,000	約 6,800
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 14,000	約 12,000	約 1,600
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 9,000	約 8,300	約 700
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 3,100	約 2,900	約 200

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

(注) 「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

上町断層帯の地震（M7.6）（4シーン別）

負傷者数(風速03m/s)

	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 冬05時発生	約 190,000	約95%	約 500	約0.3%	約 8,700	約4%	-	-	約 200,000
② 秋08時発生	約 150,000	約81%	約 400	約0.2%	約 5,400	約3%	約 30,000	約16%	約 180,000
③ 冬12時発生	約 150,000	約77%	約 300	約0.2%	約 14,000	約7%	約 30,000	約16%	約 190,000
④ 冬18時発生	約 160,000	約79%	約 400	約0.2%	約 12,000	約6%	約 30,000	約15%	約 200,000

負傷者数(風速15m/s)

	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 冬05時発生	約 190,000	約87%	約 500	約0.2%	約 28,000	約13%	-	-	約 220,000
② 秋08時発生	約 150,000	約75%	約 400	約0.2%	約 20,000	約10%	約 30,000	約15%	約 200,000
③ 冬12時発生	約 150,000	約69%	約 300	約0.1%	約 37,000	約17%	約 30,000	約14%	約 210,000
④ 冬18時発生	約 160,000	約72%	約 400	約0.2%	約 32,000	約15%	約 30,000	約14%	約 220,000

猿投－高浜断層帯の地震（M7.6）（4シーン別）

負傷者数(風速03m/s)

	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 冬05時発生	約 61,000	約97%	約 500	約0.8%	約 1,500	約2%	-	-	約 63,000
② 秋08時発生	約 42,000	約86%	約 300	約0.7%	約 900	約2%	約 5,500	約11%	約 48,000
③ 冬12時発生	約 43,000	約84%	約 300	約0.6%	約 2,600	約5%	約 5,500	約11%	約 51,000
④ 冬18時発生	約 46,000	約85%	約 300	約0.6%	約 2,100	約4%	約 5,500	約10%	約 54,000

負傷者数(風速15m/s)

	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 冬05時発生	約 61,000	約89%	約 500	約0.7%	約 7,100	約10%	-	-	約 69,000
② 秋08時発生	約 42,000	約80%	約 300	約0.6%	約 4,500	約9%	約 5,500	約10%	約 52,000
③ 冬12時発生	約 43,000	約73%	約 300	約0.5%	約 9,800	約17%	約 5,500	約9%	約 58,000
④ 冬18時発生	約 46,000	約76%	約 300	約0.6%	約 8,400	約14%	約 5,500	約9%	約 61,000

※「その他」には、ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物による死者数が含まれる。

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

(注) 「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

(4) 重傷者数

重傷者数 (冬05時 風速03m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			重傷者数	構成比	重傷者数	構成比	重傷者数	構成比	重傷者数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 12,000	約 11,000	約94%	約 200	約2%	約 400	約4%	-	-
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 4,400	約 4,300	約96%	約 100	約2%	約 70	約1%	-	-
③ 加木屋断層帯	7.4	約 4,500	約 4,200	約94%	約 200	約3%	約 100	約3%	-	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 5,800	約 5,400	約93%	約 100	約2%	約 300	約5%	-	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 2,500	約 2,100	約84%	約 200	約6%	約 200	約10%	-	-
⑥ 花折断層帯	7.4	約 9,700	約 7,600	約78%	約 100	約1%	約 1,900	約20%	-	-
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 3,900	約 3,300	約84%	約 100	約4%	約 500	約12%	-	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 12,000	約 11,000	約88%	約 200	約2%	約 1,300	約11%	-	-
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 19,000	約 18,000	約93%	約 200	約0.9%	約 1,200	約6%	-	-
⑩ 上町断層帯	7.6	約 41,000	約 38,000	約93%	約 300	約0.6%	約 2,400	約6%	-	-
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 6,200	約 5,900	約95%	約 90	約1%	約 200	約4%	-	-
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 12,000	約 11,000	約96%	約 200	約2%	約 300	約2%	-	-
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 7,400	約 6,300	約86%	約 400	約6%	約 600	約8%	-	-

重傷者数 (冬05時 風速15m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			重傷者数	構成比	重傷者数	構成比	重傷者数	構成比	重傷者数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 14,000	約 11,000	約84%	約 200	約2%	約 2,000	約15%	-	-
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 5,200	約 4,300	約81%	約 100	約2%	約 900	約17%	-	-
③ 加木屋断層帯	7.4	約 4,900	約 4,200	約85%	約 200	約3%	約 600	約12%	-	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 6,600	約 5,400	約81%	約 100	約2%	約 1,100	約17%	-	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 3,000	約 2,100	約71%	約 200	約5%	約 700	約23%	-	-
⑥ 花折断層帯	7.4	約 12,000	約 7,600	約62%	約 100	約1%	約 4,500	約37%	-	-
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 4,800	約 3,300	約69%	約 100	約3%	約 1,300	約28%	-	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 15,000	約 11,000	約73%	約 200	約1%	約 3,700	約25%	-	-
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 23,000	約 18,000	約79%	約 200	約0.7%	約 4,600	約20%	-	-
⑩ 上町断層帯	7.6	約 47,000	約 38,000	約83%	約 300	約0.5%	約 7,900	約17%	-	-
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 9,100	約 5,900	約65%	約 90	約1%	約 3,100	約34%	-	-
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 13,000	約 11,000	約88%	約 200	約2%	約 1,300	約10%	-	-
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 8,100	約 6,300	約78%	約 400	約6%	約 1,300	約16%	-	-

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

(注) 「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

重傷者数 (冬12時 風速03m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			重傷者数	構成比	重傷者数	構成比	重傷者数	構成比	重傷者数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 9,000	約 6,200	約69%	約 100	約2%	約 700	約8%	約 2,000	約22%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 4,300	約 2,600	約60%	約 60	約1%	約 200	約5%	約 1,400	約33%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 3,500	約 2,300	約66%	約 90	約3%	約 200	約6%	約 900	約25%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 3,900	約 2,700	約71%	約 70	約2%	約 600	約15%	約 500	約12%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 1,900	約 1,200	約65%	約 100	約6%	約 400	約21%	約 100	約7%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 13,000	約 4,200	約33%	約 80	約0.6%	約 3,300	約26%	約 5,000	約40%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 4,700	約 1,700	約37%	約 100	約2%	約 800	約16%	約 2,100	約45%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 14,000	約 5,600	約41%	約 100	約0.9%	約 2,200	約16%	約 5,800	約42%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 19,000	約 9,500	約50%	約 100	約0.5%	約 2,200	約12%	約 6,900	約37%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 38,000	約 25,000	約64%	約 200	約0.4%	約 3,900	約10%	約 9,700	約25%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 9,600	約 4,000	約42%	約 50	約0.5%	約 700	約7%	約 4,900	約51%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 10,000	約 6,200	約60%	約 200	約2%	約 600	約6%	約 3,300	約32%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 5,500	約 3,300	約60%	約 300	約6%	約 700	約13%	約 1,100	約21%

重傷者数 (冬12時 風速15m/s)

	M	合計	揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他	
			重傷者数	構成比	重傷者数	構成比	重傷者数	構成比	重傷者数	構成比
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 11,000	約 6,200	約56%	約 100	約1%	約 2,700	約25%	約 2,000	約18%
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 5,600	約 2,600	約47%	約 60	約1%	約 1,500	約27%	約 1,400	約26%
③ 加木屋断層帯	7.4	約 4,000	約 2,300	約58%	約 90	約2%	約 700	約18%	約 900	約21%
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 5,100	約 2,700	約54%	約 70	約1%	約 1,800	約36%	約 500	約9%
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 2,400	約 1,200	約52%	約 100	約5%	約 900	約38%	約 100	約6%
⑥ 花折断層帯	7.4	約 16,000	約 4,200	約27%	約 80	約0.5%	約 6,400	約41%	約 5,000	約32%
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 5,800	約 1,700	約30%	約 100	約2%	約 1,900	約32%	約 2,100	約36%
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 17,000	約 5,600	約33%	約 100	約0.7%	約 5,400	約32%	約 5,800	約34%
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 24,000	約 9,500	約40%	約 100	約0.4%	約 7,100	約30%	約 6,900	約29%
⑩ 上町断層帯	7.6	約 45,000	約 25,000	約55%	約 200	約0.3%	約 10,000	約23%	約 9,700	約22%
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 14,000	約 4,000	約30%	約 50	約0.4%	約 4,600	約34%	約 4,900	約36%
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 12,000	約 6,200	約51%	約 200	約1%	約 2,500	約20%	約 3,300	約27%
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 6,400	約 3,300	約52%	約 300	約5%	約 1,600	約25%	約 1,100	約18%

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

その他の重傷者数内訳(冬5時)

	M	その他合計	ブロック塀等の倒壊、 自動販売機の転倒	屋外落下物
① 猿投-高浜断層帯	7.6	-	-	-
② 名古屋市直下M6.9	6.9	-	-	-
③ 加木屋断層帯	7.4	-	-	-
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	-	-	-
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	-	-	-
⑥ 花折断層帯	7.4	-	-	-
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	-	-	-
⑧ 京都西山断層帯	7.5	-	-	-
⑨ 生駒断層帯	7.5	-	-	-
⑩ 上町断層帯	7.6	-	-	-
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	-	-	-
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	-	-	-
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	-	-	-

その他の重傷者数内訳(冬12時)

	M	その他合計	ブロック塀等の倒壊、 自動販売機の転倒	屋外落下物
① 猿投-高浜断層帯	7.6	約 2,000	約 1,900	約 60
② 名古屋市直下M6.9	6.9	約 1,400	約 1,400	約 40
③ 加木屋断層帯	7.4	約 900	約 900	約 10
④ 養老-桑名-四日市断層帯	7.7	約 500	約 500	約 10
⑤ 布引山地東縁断層帯東部	7.6	約 100	約 100	-
⑥ 花折断層帯	7.4	約 5,000	約 4,800	約 200
⑦ 奈良盆地東縁断層帯	7.4	約 2,100	約 2,100	約 30
⑧ 京都西山断層帯	7.5	約 5,800	約 5,700	約 200
⑨ 生駒断層帯	7.5	約 6,900	約 6,700	約 200
⑩ 上町断層帯	7.6	約 9,700	約 9,000	約 700
⑪ 阪神地域直下M6.9	6.9	約 4,900	約 4,700	約 200
⑫ 中央構造線断層帯	7.8	約 3,300	約 3,200	約 70
⑬ 山崎断層帯主部	8.0	約 1,100	約 1,100	約 20

(注) 数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

(注) 「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。

上町断層帯の地震（M7.6）（4シーン別）

重傷者数（風速03m/s）

		揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
①	冬05時発生	約 38,000	約93%	約 300	約0.6%	約 2,400	約6%	-	-	約 41,000
②	秋08時発生	約 29,000	約71%	約 200	約0.4%	約 1,500	約4%	約 9,700	約24%	約 40,000
③	冬12時発生	約 25,000	約64%	約 200	約0.4%	約 3,900	約10%	約 9,700	約25%	約 38,000
④	冬18時発生	約 29,000	約69%	約 200	約0.4%	約 3,300	約8%	約 9,700	約23%	約 43,000

重傷者数（風速15m/s）

		揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
①	冬05時発生	約 38,000	約83%	約 300	約0.5%	約 7,900	約17%	-	-	約 47,000
②	秋08時発生	約 29,000	約65%	約 200	約0.4%	約 5,600	約13%	約 9,700	約22%	約 44,000
③	冬12時発生	約 25,000	約55%	約 200	約0.3%	約 10,000	約23%	約 9,700	約22%	約 45,000
④	冬18時発生	約 29,000	約61%	約 200	約0.4%	約 9,000	約19%	約 9,700	約20%	約 48,000

猿投－高浜断層帯の地震（M7.6）（4シーン別）

重傷者数（風速03m/s）

		揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
①	冬05時発生	約 11,000	約94%	約 200	約2%	約 400	約4%	-	-	約 12,000
②	秋08時発生	約 7,300	約76%	約 200	約2%	約 200	約3%	約 2,000	約20%	約 9,700
③	冬12時発生	約 6,200	約69%	約 100	約2%	約 700	約8%	約 2,000	約22%	約 9,000
④	冬18時発生	約 7,900	約74%	約 200	約2%	約 600	約6%	約 2,000	約18%	約 11,000

重傷者数（風速15m/s）

		揺れ		急傾斜地崩壊		火災		その他		合計
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
①	冬05時発生	約 11,000	約84%	約 200	約2%	約 2,000	約15%	-	-	約 14,000
②	秋08時発生	約 7,300	約68%	約 200	約1%	約 1,300	約12%	約 2,000	約18%	約 11,000
③	冬12時発生	約 6,200	約56%	約 100	約1%	約 2,700	約25%	約 2,000	約18%	約 11,000
④	冬18時発生	約 7,900	約64%	約 200	約1%	約 2,400	約19%	約 2,000	約16%	約 12,000

※「その他」には、ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物による死者数が含まれる。

（注）数値は四捨五入により表示しているため、各数値の合計値は、合計の欄の値と一致しない場合がある。

（注）「-」は値がゼロまたはわずかであることを示す。